



2023年11月13日

各 位

会 社 名 リズム株式会社
代表者名 代表取締役社長 湯本 武夫
(コード番号 7769 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 山崎 勝彦
(TEL 048-643-7241)

第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記1の通りお知らせいたします。

併せて、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を下記2の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想と実績値との差異

(1) 2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異

(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 350	百万円 500	百万円 150	円 銭 18.17
実績値 (B)	14,538	166	439	△83	△10.14
増減額 (B-A)	△461	△183	△60	△233	
増減率 (%)	△3.1	△52.5	△12.1	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期第2四半期)	16,599	433	729	600	72.72

(2) 差異の理由

売上高については、大きな乖離は生じていないものの、前回発表予想を下回る結果となりました。9月にグループ入りしたリズム翔栄株式会社の業績貢献や、自動車メーカー各社の生産正常化に伴う車載関連分野の回復の一方で、生活用品事業における店頭販売の低迷や、中国経済の長期停滞に伴う工作機械関連分野の不振、ベトナムにおける組立事業の生産調整等が主な減少要因となりました。

利益面については、上述の要因に加え、円安による国内生活用品事業の仕入価格の上昇、中国生産拠点が採算改善途上であること等から、営業利益、経常利益は前回発表予想を下回りました。

また、本日発表の「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、当社連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL (DONGGUAN) LTD. の生活用品事業における事業環境の悪化に伴うリース資産

(工場の賃借契約)の減損損失、並びにシステム開発計画の変更に伴うソフトウェア資産(建設仮勘定)の減損損失を計上いたしました。

その結果、リズム翔栄株式会社の取得に伴う負ののれん発生益を計上したものの、83百万円の四半期純損失となり、前回発表予想を下回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 2024年3月期通期連結業績予想の修正

(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,500	1,100	1,400	800	96.88
今回修正予想 (B)	33,000	850	1,250	400	48.44
増減額 (B-A)	1,500	△250	△150	△400	
増減率 (%)	4.8	△22.7	△10.7	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	31,231	886	1,246	794	96.16

(2) 修正の理由

通期業績予想については、第2四半期累計期間の結果及び足元の業績動向を踏まえ、上記の通り修正いたします。

売上高については、リズム翔栄株式会社の業績が寄与することに加え、車載関連分野については新規案件の獲得を含め順調な推移を見込んでおります。為替変動の影響も鑑み、売上高は前回発表予想を上回り、中期経営計画(2023年3月期~2025年3月期)2年目の目標値である330億円に上方修正いたします。

利益面については、売上高同様に車載関連分野での収益貢献が見込まれる一方、工作機械関連の投資抑制や空調を含む家電関連の在庫調整に伴う受注低迷、円安による国内生活用品事業の仕入価格の上昇局面が、当初の想定以上に長期化するものと想定しております。当下半期(2023年10月1日~2024年3月31日)では各段階利益において前年同期比増益を見込んでいるものの、第2四半期累計期間における業績進展の遅れや特別損失計上の影響もあり、通期では前回発表予想を下回る見通しです。

なお、2024年3月期の期末配当については、2023年5月15日に公表いたしました配当予想から変更はありません。

(注) 上記の連結業績予想につきましては、発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上